

情 報 公 開 文 書

研究の名称	出生月によって罹患リスクに差がある疾患の解析（エコチル調査のデータ解析より）
整理番号	R2016048
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加同意されている母子 【研究の目的・意義】 出生月や出生した季節によって発症頻度が異なる疾患があるかを検討する。本研究は特定の曝露因子と疾患の関連を検証するものではないが、10万人が登録された前向き出生コホート研究であるエコチル調査のデータセットを利用することにより、季節変動する曝露因子と疾患発症リスクとの関係を解析するための重要な基礎データを得ることを期待している。 【研究の方法】 エコチル調査にて実施した、妊娠期女性を対象とした妊娠前期と中後期に実施した2回の質問票調査、対象者のパートナーに実施した1回の質問票調査により、母親と父親の既往歴および交絡する要因についての情報を得る。また、アウトカムである児の疾患については、出産時の診察記録を転記した調査票、および母親が回答する1歳時期の質問票（C1y）、2歳時期の質問票（C2y）より得る。 上記の各質問票・調査票から得られるデータは、エコチル調査コアセンターにより、エコチル調査の研究者に提供されたデータセットを用いて解析する（出産時のデータは取得済み、1歳時と2歳時のデータ提供時期は未定）。 【研究期間】 2016年8月～2025年3月
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	・出生月 ・児が罹患した疾患（先天性疾患、感染症、アレルギー疾患等） ・出生月に交絡すると考えられる因子（児の体格、在胎期間、家族構成、両親の教育歴、両親の社会的階層、職業、世帯収入） ・疾患罹患に交絡すると考えられる因子（母親と父親の既往歴、予防接種歴、母乳摂取、睡眠時間、保育施設への通所）など
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 教授 稲寺 秀邦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076 (434) 7277 FAX 076 (434) 5023 E-mail aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系・公衆衛生学講座 土田暁子

